

コミュニケーション支援等プログラム業務委託に係る公募型プロポーザル

令和3年3月4日 回答

書類	頁	項目	質問内容	回答
全般	-	-	本事業における過年度までの成果(達成事項)と来年度以降の課題(未達成事項)についてご教示ください。 (令和3年3月2日質問)	過年度までの事業全体の成果としては、事業開始から間もないこともあり、参加者数の増加をもって成果と認識していますが、今後は、当事業利用者が就労や進学につながる支援を行うことを課題と考えています。 ※過年度までの成果につきまして詳細は、当財団ホームページ【団体概要】掲載の「事業計画書及び収支予算書」「事業報告書及び決算」「経営計画及び進捗状況」の該当項目も併せてご参照ください。
全般	-	-	本事業の対象者となる方々の抱える課題について、貴財団独自の特徴があればご教示ください。 (令和3年3月2日質問)	対象者の方々が抱える課題については、国※で示す若者が抱える課題と大きな相違はありません。 ※内閣府「子供・若者育成支援推進大綱」
企画提案条件等	1 2	(2)業務内容	各プログラムの定員についてご教示ください。 (令和3年3月2日質問)	各プログラムの定員は以下のとおりです。 ※利用登録者定員ではなく、各回・各時間の参加定員です。 ◇4(2)-②社会参加プログラム 定員8名程度 ◇4(2)-③社会居場所事業一部運営 (ア)フリースペース 定員5名程度 (オ)夜間プログラム 定員12名程度
企画提案条件等	2	(2)業務内容 ③居場所事業(ウ)	「コミュニケーションスキル、生活スキルの向上を支援する活動プログラム」につきまして、対象となる利用者の想定や目標をご教示ください。	対象者は自立に不安を抱えながらも社会とつながりはじめようとする若者です。 本事業の利用により、人のいる空間に慣れる、自分に自信

			(令和3年3月2日質問)	がもてる、自分なりのコミュニケーションを身につけることができることを目標と考えています。
企画提案条件等	2	(4)専門スタッフ ②居場所事業	「調理による軽食提供の際には食品衛生管理の知識を有する者を配置する」とありますが、特別な資格や研修は必要でしょうか。 (令和3年3月2日質問)	・調理師、栄養士、食品衛生管理者、食品衛生責任者等の資格の取得者であることが望ましいです。ただし、難しい場合は、食品の衛生管理について知識習得ができる講習、上記資格者等から教示を受けることでも可能とします。